

三郷出張所だより

出張所だよりは江戸川河川事務所のホームページ
(<http://www.ktr.mlit.go.jp/edogawa>)に掲載しています。

国土交通省関東地方整備局
江戸川河川事務所
三郷出張所 発行
電話 048(952)7015
2016年1月【第28号】

平成27年度 三郷排水機場の運転実績について

平成27年度三郷排水機場におけるポンプの運転実績としましては、台風6号、台風11号及び台風18号の計3個の台風によりもたらされた豪雨による出水対応として、機場のポンプ運転を実施しました。

〔平成27年度三郷排水機場運転実績〕

出水名	ポンプ運転開始	ポンプ運転終了	ポンプ運転時間	200m ³ /sポンプ 運転時間	総排水量
台風6号	H27.5.13 0:35	H27.5.13 2:00	1時間25分	0時間	363,000 m ³
台風11号	H27.7.16 17:00	H27.7.17 15:40	22時間40分	0時間	7,320,000 m ³
台風18号	H27.9.9 14:20	H27.9.11 21:30	55時間10分	28時間	33,270,000 m ³
合計					40,953,000 m ³
東京ドーム換算					33 杯分相当

特に台風18号では、関東地方上空に南北に伸びる「線状降水帯」なる雨雲が長時間停滞したことから、中川流域で累加雨量272.7mm、綾瀬川流域で累加雨量328.9mmもの大雨を記録し、その結果中川の吉川地点や綾瀬川の谷古宇地点では、「はん濫危険水位」を超えました。

最近見られる雨の降り方としましては、短時間で狭い範囲内に集中的な雨をもたらす降雨形態が頻発しています。

江戸川河川事務所では、事務所のホームページにおいて、管内の水防警報発令状況を瞬時に発表しておりますので、是非ご覧ください。

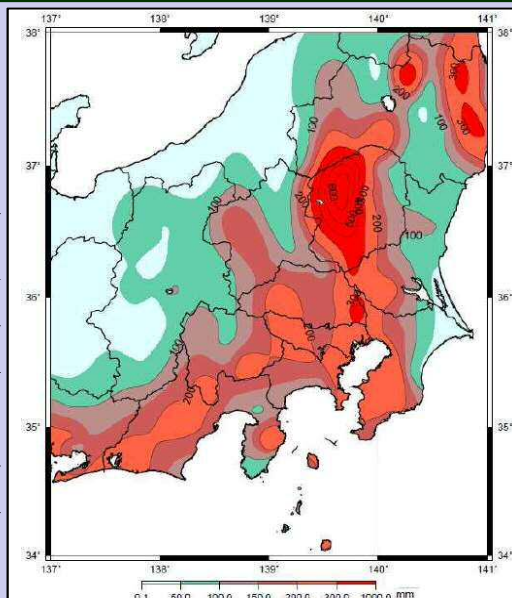
〔台風18号による出水状況写真〕



※9/11 三郷排水機場煙突より江戸川方面を撮影



※9/11 JR武蔵野線江戸川橋梁付近より江戸川方面を撮影



8日から10日までにアメダスで観測された累加降水量の分布図（日本気象協会より）

<台風18号による三郷市内の被害状況>

- (1) 住家被害 (床上浸水) 5件
(床下浸水) 6件
- (2) 非住家被害 (床上浸水) 2件
(床下浸水) 1件
※非住家・・・事務所や工場などの建物
- (3) 道路冠水 44件

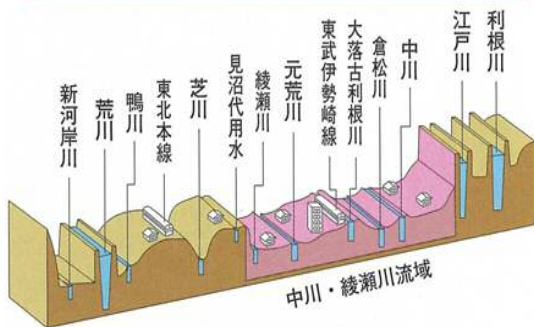
(三郷市調査結果)

中川・綾瀬川流域における浸水被害軽減状況

中川・綾瀬川流域

水がたまりやすい
お皿のような地形

中川・綾瀬川流域は、利根川、江戸川、荒川の大河川に囲まれ、水がたまりやすいお皿のような地形になっています。



中川・綾瀬川流域は左図のように、東に位置する江戸川並びに西に位置する荒川といった高台に囲まれているため、水が貯まりやすく、まるで『お皿の底』のような地形をしています。そのため、水はけしにくい地域でした。

国土交通省では、低地に広がる中川・綾瀬川流域の洪水被害を軽減させるべく、昭和54年の三郷放水路完成以降、この地域の洪水排除のための施設整備にいろいろ取り組んで参りました。

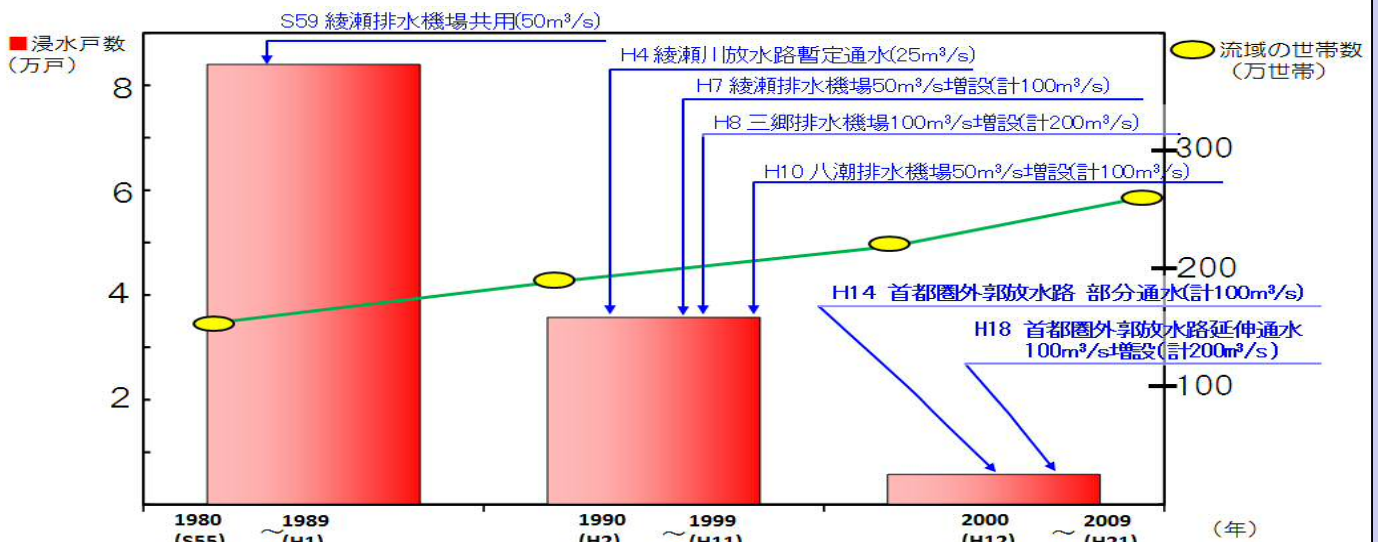
基本的には、流域として流れにくい、貯まりやすい洪水流を、荒川や江戸川に排水するための施設整備を順次行ってきました。

綾瀬川の洪水を荒川に排水するための綾瀬排水機場の設置、また綾瀬川の水を中川に流すための綾瀬川放水路及び八潮排水機場の設置、さらには大落古利根川や倉松川といった流域上流部での洪水排除を目的とした首都圏外郭放水路の設置など、治水施設の整備を進めた結果、1980年から1989年の10年間で延べ8万戸以上あった浸水被害が、近年(2000年～2009年)では10分の1になりました。

三郷市としましても、三郷排水機場の設置並びにポンプ施設の増設に伴う浸水被害の軽減により、市内の人口が増加するようになりました。

中川・綾瀬川流域における治水対策の推進にもない浸水被害が軽減

- 中川・綾瀬川流域は、低平な地形で都市化が急速に進展し水害が頻発
- 放水路や排水機場などの治水施設の整備を進めるとともに、流域の保水・遊水機能を確保するなどの総合的な治水対策を講じてきたところ
- このような対策の推進に伴い浸水被害が軽減し、1980年代は10年間で8万戸を超える浸水被害が発生していたが、近年では1/10以下となっている



※浸水戸数は、48時間流域平均雨量100mm以上の出水を対象に、水害統計より浸水戸数を集計
 ※流域の世帯数は、国勢調査(調査年はく)内)結果から、H26現在の流域関連自治体を対象に集計

☆ あ と が き ☆

年も改まって、やっと冬らしい季節になってきました。ですが、つい先日までは暖冬の影響からか、春を思わせるような暖かい気候が続いていました。

三郷市早稲田地先にある江戸川の堤防では、春の訪れとともに黄色い花をつけるはずの「カラシナ」が、ちらほらと咲いている姿が見受けられました。

冬の季節が短い分、夏の暑さが例年以上に長く続くような年が、訪れることになるのでしょうか。

江戸川河川事務所
携帯版ホームページ

<http://www.ktr.mlit.go.jp/edogawa/m/index.htm>

